

# ARTS for HOPE 現地視察報告書

2016年3月19日～21日

宮城県石巻市



ガラスが割れたまま、5年前と変わらない姿で残る建物



当時の姿を至るところに残したまま、すぐ近くでは復興住宅と思しき建物の建設が進む



瓦が崩れたまま放置されたお寺も残る



至るところで行われているかさ上げ工事。  
中心部には住宅基礎が残されたままの  
帯が広がる





震災直後の2011年4月に訪れた門脇小学校。津波と火災に襲われ、当時は燃えた家屋や車の残骸などが山高く折り重なっていた。学校の誘導により避難した子どもたちは全員無事だったが、昨年3月31日をもって閉校した。



2011年6月にアートプログラムを届けた湊第二小学校。校舎の被災、児童の転出により存続が難しくなり、一昨年3月に60年の歴史に幕を閉じた。子どもたちとの思い出が詰まった校舎は、解体が決まってから数年経った今も残されたまま。

## 岩手県釜石市



大規模な区画整理と高上げ工事が進む釜石。町の自然風景が姿を変えていた。





切り崩された山々が無残な姿に胸が痛む。  
釜石では巨大な防潮堤の建設も進む。

